

2 年実力テスト範囲、夏季休業中の課題学習について

【英語】

【実力テスト範囲・勉強法】

リスニング（ハイパーリスニングL1-L6）、単語（ターゲットSection1・2）

文法（パワーステージ第5章-第7章）、教科書（L4・L5）、記述（初見問題）

『これをやれば大幅アップ!』なんてものはありません。コツコツとこれからも積み重ねてください。

【夏休みの学習・課題について】

1. Hyper Listening Dictation Note Lesson 1-6 提出

2. Seek neo 2 p37-42 Supplement 5-10 提出

*Retellingは要約して英文を書くこと。

Speakingも取り組むこと。アクセスキー：9yg33

3. 英作文 A Japanese Tradition I Want To Share

清書（白紙）に（黒ペンまたはボールペン）で記入すること。

*全国高等学校生徒英作文コンテストへ応募します。

【国語】

【実力テスト範囲・勉強法】

①評論 ②小説 ③古文 ④漢文 は初見の問題ですが、他に『古文単語330』p236～253を範囲にして古文単語の問題も10点分出題します。特に古典文法の助動詞や、漢文句法については『完全マスター古典文法』や『漢文必携』を用いて学習してください。また、課題の『ウインステップ・ノート』はしっかり取り組んでください。現代文については論理的な文章を多く読むことが第一です。岩波新書などで自分の関心のある分野の評論を、この夏休みはぜひ一冊は読んでほしいものです。

【夏休みの学習・課題について】

1. 『ウインステップ・ノート現代文2』評論3・4、小説12・13 計4題

2. 『ウインステップ・ノート古典2』古文3・4、漢文12・13 計4題

*間違いは必ず赤で訂正を入れ、正しい解答を記入すること。

*中間点は解答・解説を読んで自分で判断して記入し、合計点数も必ず記入すること。

【地学基礎】

範囲：既習範囲すべて。『第1部 固体地球とその変動』

『第2部 第1章 地球史の読み方 第1節 堆積岩とその形成（教～p.64）』

レベルはセンター試験並み、記述式

学習法：範囲の教科書・図表をよく読み、地学現象の理解に努めること

日頃から地学的現象（大雨、火山噴火、地震など）に興味を持って情報を見ることが。余裕があれば、セミナーを解き進めること

【数学】

	分野	形式	配点
1	I Aの全範囲・IIの既習範囲	小問	25点
2	場合の数、確率	記述	15点
3	三角比	記述	15点
4	図形と方程式	記述	15点
5	三角関数	記述	15点
6	文系：式と証明・複素数と方程式 ----- 理系：平面上のベクトル	記述	15点

学習のアドバイス

夏季休業中の課題の前半は、教科書の例題および応用例題にあたる問題、後半は7月に行われた模試の類題です。前期の講習でも、4月から7月までの授業を振り返ることになります。まずは宿題と講習を通して学習内容を定着させましょう。

8月の実力テストでは、宿題から50点程度を出題します。また数学ⅠAの内容も出題しますので、模試や数学ⅠAのウインステップを解き直すなど、効率的に1年生の復習しましょう。

基礎力をつけるための良書は、やはり教科書です。苦手な部分は教科書を何度も読み返し、解き直すことで克服してください。課題だけで物足りない人は、後期の講習を活用したり、フォーカスゴールドやサクシードの演習問題を解き進めたり、自ら課題を見つけ取り組みましょう。

【化学】

出題範囲 1年で履修した化学基礎の全範囲(基礎→応用)
+2年での既習範囲 p106～p125(電池・電気分解)
p6～p37(物質の状態+気体の性質)

アドバイス 問題集ニューグローバルの該当部分を演習しておくこと。
p6～p107 化学基礎部分(p93～p107の類題)
p108～p123 物質の状態 気体の法則部分
(p111～p112 p120～p121の類題)
p154～p167 電池と電気分解(p160～p162の類題)

【物理基礎】

『出題範囲』

- ・これまで学習したすべてが試験範囲です。
- ・基礎的な内容から発展的な内容まで出題します。
- ・教科書：第1編「運動とエネルギー」(p.4～p.85)
問題集：序章，第Ⅰ章，第Ⅱ章⑤ (p.2～p.73)

『学習ポイント』

公式を覚えるだけでは問題は解けません。物理的な考え方を理解し、しっかりと自分の力として定着させるためには、問題演習を地道に重ねるしかありません。教科書や参考書を漫然と眺めても分かった気になるだけです。苦手を放置したら悪化する一方です。諦めずに時間をかけて一問ずつ真剣に取り組むこと。間違えた問題や、どうしてもできなかった問題は、解答解説を読んで理解し、時間をおいてから再度取り組みよう。

